

県立自然史博物館企画展示

開館25周年記念 第64回企画展『鳥がトリであるために』の開催について

陸、海、空に暮らす鳥。

鳥がトリである最大の特徴は、空を飛ぶ、ということでしょう。

体の大きなハシビロコウから小さなハチドリまで、

空を飛ぶには、体が軽くて丈夫でなくてはなりません。

形さまざま、色とりどり、多様な環境に適応した鳥たちの世界を紹介します。

なお、当企画展では、当館が25年間、収蔵・調査研究を行ってきた標本を多数展示します。



1 主な展示内容

- 空中・水中・陸上での暮らしに適応した鳥類剥製から、多様な環境で暮らしていることを感じる空間
- トリは羽を有していることが最大の特徴であることを学ぶ空間
- 1枚の羽から、その特徴をとらえ、持ち主を探し出すゲーム感覚的な空間
- 流線的な体、軽い体、体温調節ができる、筋肉、骨格、内臓等、飛ぶことに適応した構造を学ぶ空間
- 食性や生息環境、生活形態に応じて、多様な形状をしている鳥類の形質的多様性を感じる空間

2 企画展関連イベント（※代表的なイベント。詳細は、添付したチラシ裏面をご覧ください。）

- 7月17日（土）ワークショップ「クレヨンで鳥トリすけっち」
- 9月11日（土）ワークショップ「鳥トリキューブをつくってみよう！」
- 10月10日（日）観察会「群馬サファリパークで鳥トリ観察会」
- 10月17日（日）講演会「鳥類学者の食卓～キッチンから覗く鳥類進化～」
- 11月7日（日）講演会
「鳥と古代人のトリドリばなし～ニワトリ・鶉」と弥生人、地上絵の鳥とナスカ人～



3 開催期間等 注：オンラインによる事前予約が必要です。

(season1) 令和3年7月17日（土）～9月5日（日）

夏のキャンプサイトでのバードウォッチングをテーマに、多種多様な鳥の標本を展示

(season2) 令和3年9月11日（土）～12月5日（日）

秋のまなびの場として、渡り鳥や天然記念物の標本展示等を実施

※新型コロナウイルス感染症の流行状況により、会期等が変更になる場合があります。